

新潟市民病院新中期計画（改革プラン）

1. 事業計画（網掛け部分：平成21年2月16日改訂）

病院の理念		患者とともにある全人的医療										計画期間	平成20年度～24年度	
視点	基本方針	平成20年度（2008）		平成21年度（2009）		平成22年度（2010）		平成23年度（2011）		平成24年度（2012）		備考		
		目標	評価	目標	評価	目標	評価	目標	評価	目標	評価			
患者さんに信頼される、ぬくもりのある医療をめざします	患者サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 患者さん相談窓口の充実 ボランティア活動の推進 広報活動の充実 クレームに対する改善 		<ul style="list-style-type: none"> 患者さん相談窓口の充実 ボランティア活動の推進 広報活動の充実 クレームに対する改善 		<ul style="list-style-type: none"> 患者さん相談窓口の充実 ボランティア活動の推進 広報活動の充実 クレームに対する改善 		<ul style="list-style-type: none"> 患者さん相談窓口の充実 ボランティア活動の推進 広報活動の充実 クレームに対する改善 		<ul style="list-style-type: none"> 患者さん相談窓口の充実 ボランティア活動の推進 広報活動の充実 クレームに対する改善 		<ul style="list-style-type: none"> 患者さん相談窓口の充実 ボランティア活動の推進 広報活動の充実 クレームに対する改善 		「患者満足度」：アンケート調査での肯定的な回答の割合
		指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績			
		①患者満足度 外来70%、入院80%		①外来73%、入院83%		①外来76%、入院86%		①外来外来78%、入院88%		①外来80%、入院90%				
		②患者会計待ち時間 7分		②7分		②6分		②6分		②5分				
		③よろず相談件数 400件		③500件		③500件		③600件		③600件				
		④クレーム件数 ア 感謝の意見 40件以上 イ 待ち時間クレーム 25件以内 ウ 職員の対応・接遇クレーム 150件以内		④ア 40件以上 イ 20件以内 ウ 150件以内		④ア 40件以上 イ 15件以内 ウ 120件以内		④ア 40件以上 イ 15件以内 ウ 120件以内		④ア 40件以上 イ 10件以内 ウ 100件以内				
	⑤患者の図書室利用延べ人数 2,000人以上		⑤ 2,000人以上		⑤ 2,000人以上		⑤ 2,000人以上		⑤ 2,000人以上					
	医療安全対策	<ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデント事例の分析と対策 インフォームド・コンセント文書の整備 医療安全研修の充実 新病院でのマニュアルの改定 		<ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデント事例の分析と対策 インフォームド・コンセント文書の整備 医療安全研修の充実 		<ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデント事例の分析と対策 インフォームド・コンセント文書の標準化 医療安全研修の充実 		<ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデント事例の分析と対策 インフォームド・コンセント文書の見直し・修正 医療安全研修の充実 		<ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデント事例の分析と対策 インフォームド・コンセント文書の見直し・修正 医療安全研修の充実 				「IVH」：中心静脈栄養
		指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績			
		①患者影響レベル5の件数：0件		①0件		①0件		①0件		①0件				
		②患者影響レベル4の件数：0件		②0件		②0件		②0件		②0件				
		③各科インフォームド・コンセント文書の作成率 70%		③100%		③100%		③100%		③100%				
④医療安全研修会開催回数 2回（全員参加） その他の研修会（職種別等） 5回以上			④2回（全員参加） その他の研修会（職種別等） 5回以上		④2回（全員参加） その他の研修会（職種別等） 5回以上		④2回（全員参加） その他の研修会（職種別等） 5回以上		④2回（全員参加） その他の研修会（職種別等） 5回以上					
⑤「セーフティ情報」発行回数 12回以上		⑤12回以上		⑤12回以上		⑤12回以上		⑤12回以上						
⑥事例検討：12回以上		⑥12回以上		⑥12回以上		⑥12回以上		⑥12回以上						
⑦無菌製剤の拡充 ア 抗がん剤調整率 外来100%、入院100% イ IVH調整準備		⑦ア 外来100% 入院100% イ IVH調整開始		⑦ア 外来100% 入院100% イ IVH調整率 80%		⑦ア 外来100% 入院100% イ 90%		⑦ア 外来100% 入院100% イ 100%						
第三者評価	<ul style="list-style-type: none"> 病院機能評価の認定更新 病院事業運営審議会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 日本輸血細胞治療学会 I & Aの認定更新 病院事業運営審議会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 救急医療機能（付加機能）評価の認定更新 病院事業運営審議会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 病院事業運営審議会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 卒後臨床研修評価機構の認定更新 病院事業運営審議会の開催 					
	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績				
①認定更新		①認定更新		①認定更新		②3回		①認定更新						
②病院事業運営審議会開催回数 2回		②2回		②3回				②4回						
クリニカルパスの推進	<ul style="list-style-type: none"> 電子クリニカルパスの稼働 地域連携電子パスの開発 		<ul style="list-style-type: none"> 電子クリニカルパスの拡充 地域連携電子パスの開発と稼働 		<ul style="list-style-type: none"> 電子クリニカルパスの拡充 地域連携電子パスの拡充 		<ul style="list-style-type: none"> 電子クリニカルパスの拡充 地域連携電子パスの拡充 		<ul style="list-style-type: none"> 電子クリニカルパスの拡充 地域連携電子パスの拡充 					
	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績				
①電子クリニカルパスの稼働数 20種類以上		①40種類以上		①60種類以上		①100種類以上		①100種類以上						
②地域連携電子パスの電子化準備（大腿骨頸部骨折・脳卒中）		②地域連携電子パス稼働開始（大腿骨頸部骨折・脳卒中） 3種類		②地域連携電子パス稼働数（大腿骨頸部骨折・脳卒中） 5種類 30件		②10種類以上 70件		②10種類以上 70件						

視点	基本方針	主要項目	平成20年度 (2008)		平成21年度 (2009)		平成22年度 (2010)		平成23年度 (2011)		平成24年度 (2012)		備考				
			目標	評価	目標	評価	目標	評価	目標	評価	目標	評価					
			指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績					
業 務	重症・専門・救急を中心 に、質の高い医療を めざします	重症救急患者 受入れへのシフト	・「救命救急・循環器病・脳卒中 センター」の本格稼働 ・「総合周産期母子医療センター」 の本格稼働 ・救急ステーションの本格稼働と連 携強化 ・医師会や二次輪番病院との連携 強化(いわゆる「たらい回し」の回 避) ・一次救急患者の占める割合の低 減 ・看護師の増員		・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療セン ター」の機能充実 ・救急ステーションの機能充 実と連携強化 ・医師会や二次輪番病院との 連携強化 ・一次救急患者の占める割合 の低減 ・看護師の増員		・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療セン ター」の機能充実 ・救急ステーションの機能充 実と連携強化 ・医師会や二次輪番病院との 連携強化 ・一次救急患者の占める割 合の低減		・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療セン ター」の機能充実 ・救急ステーションの機能充 実と連携強化 ・医師会や二次輪番病院との 連携強化 ・一次救急患者の占める割合 の低減		・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の機能充実 ・「総合周産期母子医療セン ター」の機能充実 ・救急ステーションの機能充 実と連携強化 ・医師会や二次輪番病院との 連携強化 ・一次救急患者の占める割合 の低減		「NICU」: 新生児集中治療室 「MFCU」: 母体胎児集中治療室				
			①救急患者の受入人数 14,000人 ②うち救急車による人数 4,500人 ③ドクターカーの出動回数 1,300回 ④「救命救急・循環器病・脳卒中セ ンター」実質稼働ベッド数 45床 ⑤NICU、MFCU稼働率 NICU 95% MFCU 80%以上 ⑥「救命救急・循環器病・脳卒中セ ンター」における一次救急患者の 占める割合 70%以内		①15,000人 ②5,000人 ③1,400回 ④50床 ⑤NICU 95% MFCU 80%以上 ⑥68%以内		①16,000人 ②5,500人 ③1,500回 ④50床 ⑤NICU 95% MFCU 80%以上 ⑥66%以内		①16,000人 ②5,500人 ③1,500回 ④50床 ⑤NICU 95% MFCU 80%以上 ⑥64%以内		①16,000人 ②5,500人 ③1,500回 ④50床 ⑤NICU 95% MFCU 80%以上 ⑥62%以内						
			・地域の基幹病院として新病院の 本格稼働 ・DPC準備病院		・地域の基幹病院としての役 割充実 ・DPC対象病院		・地域の基幹病院としての役 割発揮		・地域の基幹病院としての役 割発揮		・地域の基幹病院としての役 割発揮			・地域の基幹病院としての役 割発揮		「DPC」: 包括医療制度	
			①手術件数 5,000件 ②リニアック件数 6,500件 ③MRI件数 7,200件 通常待ち日数 2日 ④CT件数 24,000件 通常待ち日数 2日		①5,200件 ②6,750件 ③7,400件 2日以内 ④25,500件 2日以内		①5,300件 ②7,000件 ③7,600件 2日以内 ④27,000件 2日以内		①5,400件 ②7,250件 ③7,800件 2日以内 ④28,500件 2日以内		①5,500件 ②7,500件 ③8,000件 2日以内 ④30,000件 2日以内						
			・病病連携、病診連携の推進 ・「救命救急・循環器病・脳卒中セ ンター」の病床確保のための連携 強化 ・外来医療から入院医療へのシフ ト ・地域の保険薬局薬剤師との連携		・病病連携、病診連携の推進 ・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の病床確保のため の連携強化 ・外来医療から入院医療へのシ フト ・地域の保険薬局薬剤師との 連携		・病病連携、病診連携の推進 ・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の病床確保のため の連携強化 ・外来医療から入院医療への シフト ・地域の保険薬局薬剤師との 連携		・病病連携、病診連携の推進 ・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の病床確保のため の連携強化 ・外来医療から入院医療への シフト ・地域の保険薬局薬剤師との 連携		・病病連携、病診連携の推進 ・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の病床確保のため の連携強化 ・外来医療から入院医療への シフト ・地域の保険薬局薬剤師との 連携			・病病連携、病診連携の推進 ・「救命救急・循環器病・脳卒 中センター」の病床確保のため の連携強化 ・外来医療から入院医療への シフト ・地域の保険薬局薬剤師との 連携			「総延べ患者数」: 外来延べ患者数+入 院延べ患者数
			①紹介率 80%以上 ②逆紹介率 50%以上 ③FAX事前予約件数 7,500件 ④登録医数 425人 ⑤共同診療実施件数 50件 ⑥総延べ患者数に対する入院延 べ患者数の占める割合 44%		①80%以上 ②55%以上 ③7,750件 ④450人 ⑤70件 ⑥45%		①80%以上 ②60%以上 ③8,000件 ④475人 ⑤85件 ⑥46%		①80%以上 ②60%以上 ③8,000件 ④475人 ⑤85件 ⑥47%		①80%以上 ②60%以上 ③8,000件 ④475人 ⑤85件 ⑥48%						
	・地域の医療水準の向上 ・市民啓発		・地域の医療水準の向上 ・市民啓発		・地域の医療水準の向上 ・市民啓発		・地域の医療水準の向上 ・市民啓発		・地域の医療水準の向上 ・市民啓発		・地域の医療水準の向上 ・市民啓発		公立病 院として 地域医 療に貢 献				
	①医師派遣(手術応援)延べ人数 30人 ②市民向け講習会の開催回数(さ わやかトーク宅配便) 6回		①30人 ②10回		①30人 ②12回		①30人 ②12回		①30人 ②12回								

視点	基本方針	主要項目	平成20年度 (2008)		平成21年度 (2009)		平成22年度 (2010)		平成23年度 (2011)		平成24年度 (2012)		備考			
			目標	評価	目標	評価	目標	評価	目標	評価	目標	評価				
人	人間性豊かな医療人の育成をめざします	臨床研修指定病院としての機能の充実	・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備 ・医学生、看護学生の教育研修推進 ・職員研修計画に基づく研修充実		・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備 ・医学生、看護学生の教育研修推進 ・職員研修計画に基づく研修充実		・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備 ・医学生、看護学生の教育研修推進 ・職員研修計画に基づく研修充実		・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備 ・医学生、看護学生の教育研修推進 ・職員研修計画に基づく研修充実		・医師の卒後研修(初期研修、後期研修)の研修プログラムを含めた体制整備 ・医学生、看護学生の教育研修推進 ・職員研修計画に基づく研修充実		「TDM」: 血中濃度の解析			
			指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績				
			①臨床研修医の受入人数 ア 初期研修医 12人 イ 後期研修医 15人 ②医学生の臨床実習受入人数 60人 ③看護実習生等の受入人数 294人(看護実習200、助産学実習4、その他90) ④定例医局イブニングカンファレンスの開催回数 9回 ⑤院内集談会の開催回数 10回 ⑥TDM実施率 70%		①ア12人 イ 15人 ②60人 ③294人(看護実習200、助産学実習4、その他90) ④9回 ⑤10回 ⑥70%		①ア12人 イ 20人 ②60人 ③294人(看護実習200、助産学実習4、その他90) ④9回 ⑤10回 ⑥80%		①ア12人 イ 20人 ②60人 ③294人(看護実習200、助産学実習4、その他90) ④9回 ⑤10回 ⑥90%		①ア12人 イ 20人 ②60人 ③294人(看護実習200、助産学実習4、その他90) ④9回 ⑤10回 ⑥100%					
		人事評価制度の充実	・人事評価制度の実施と充実 ・目標管理分野の評価開始		・人事評価制度の実施と充実		・人事評価制度の実施と充実		・人事評価制度の実施と充実		・人事評価制度の実施と充実			・人事評価制度の実施と充実		
			指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績		指標	実績	
		①人事評価実施率100%		①人事評価実施率100%		①人事評価実施率100%		①人事評価実施率100%		①人事評価実施率100%		①人事評価実施率100%				
		付帯設備の機能充実	・スキルステーションの整備 ・病院職員が利用しやすい図書室の整備 ・購入雑誌の見直しと電子ジャーナル導入		・スキルステーションを利用した研修の推進 ・中心静脈穿刺、胸腔ドレナージなどの研修を全研修医に実施 ・図書室の内容の充実 ・相互貸借業務の充実と、NACSIS-CAT/ILLへの参加		・スキルステーションを利用した研修の推進 ・小児救急、外傷救急のOSCE研修開始 ・図書室の内容の充実		・スキルステーションを利用した研修の推進 ・院内発生救急(急変)対応の研修再検討 ・図書室の内容の充実		・スキルステーションを利用した研修の推進 ・これまでの教育研修体制の評価と、スキルステーション有効活用の再検討 ・図書室の内容の充実			・スキルステーションを利用した研修の推進 ・上記の参加館間で行う相互貸借の業務を電子化したシステム		「NACSIS-CAT」: 国立情報学研究所が提供する目録・所在情報サービスの略称 「NACSIS-ILL」: 上記の参加館間で行う相互貸借の業務を電子化したシステム 「OSCE」: 客観的臨床能力試験
			指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績				
			①図書室の新規蔵書拡充 100冊 ②図書の見直しと電子ジャーナル利用可能雑誌数 50誌		①100冊 ②製本雑誌の過及入力 6,500冊 ③電子ジャーナル利用可能雑誌数 60誌		①150冊 ②6,500冊(完了) ③100誌(完了) ④小児救急研修 医師10人 看護師30人		①150冊		①150冊					
		職員満足度の向上	・職員の労働環境の改善		・職員の労働環境の改善		・職員の労働環境の改善		・職員の労働環境の改善		・職員の労働環境の改善			・職員の労働環境の改善		「職員満足度」: アンケート調査での肯定的な回答の割合
			指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績				
		①職員満足度 60% ②過重労働対策該当者の前年度比10%減		①職員満足度 63% ②過重労働対策該当者の前年度比10%減		①職員満足度 66% ②過重労働対策該当者の前年度比10%減		①職員満足度 69% ②過重労働対策該当者の前年度比10%減		①職員満足度 72% ②過重労働対策該当者の前年度比10%減						
財	健全経営を推進します	新病院移転後の経営の効率化	・新病院の経費見直し		・新病院の経費見直し		・新病院の経費見直し		・新病院の経費見直し		・新病院の経費見直し					
			指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績				
		①経常収支比率(平成25年度に経常黒字の達成を目指す) 97.9% ②医業収支比率 92.3% ③職員給与費対医業収益比率 51.0% (退職給与費を除くと 47.9%) ④材料費対医業収益比率 28.3% うち、薬品費対医業収益比率(再掲) 14.3% ⑤病床利用率 93.0% ⑥平均在院日数 15.0日		①92.9% ②85.6% ③54.6% (退職給与費を除くと 51.4%) ④30.0% (再掲) 15.9% ⑤94.5% ⑥13.6日		①94.1% ②87.3% ③64.7% (退職給与費を除くと 51.6%) ④29.2% (再掲) 15.5% ⑤94.5% ⑥13.4日		①94.7% ②87.9% ③54.7% (退職給与費を除くと 50.8%) ④28.8% (再掲) 15.2% ⑤94.5% ⑥13.2日		①96.9% ②89.9% ③53.9% (退職給与費を除くと 50.5%) ④28.5% (再掲) 15.0% ⑤94.5% ⑥13.0日						
		経営形態の見直し	・全部適用による自律的経営の努力		・全部適用による自律的経営の努力		・全部適用による自律的経営の確立 ・地方独立行政法人化に向けた調査検討		・全部適用による自律的経営の確立 ・地方独立行政法人化に向けた調査検討		・全部適用による自律的経営の確立 ・地方独立行政法人化に向けた調査検討		・全部適用による自律的経営の確立 ・地方独立行政法人化に向けた調査検討			
			指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績	指標	実績				

2 中期経営計画（平成21年2月16日改訂）

◎経営指標

		20年度計画	21年度予算	22年度	23年度	24年度
入院収益 (感染症除く)	病床利用率(%)	93.0	94.5	94.5	94.5	94.5
	延べ患者数(人)	221,379	224,891	224,891	225,507	224,891
	1日平均患者数(人)	606	616	616	616	616
	入院単価(円)	54,890	53,000	55,846	56,346	56,846
	新入院患者数(人)	14,759	16,536	16,783	17,084	17,299
	平均在院日数	15.0	13.6	13.4	13.2	13.0
外来収益 (人間ドック除く)	延べ患者数(人)	291,600	266,200	272,250	278,300	284,350
	1日平均患者数(人)	1,200	1,100	1,125	1,150	1,175
	外来単価(円)	11,000	12,500	12,500	12,500	12,500

		20年度計画	21年度予算	22年度	23年度	24年度
収益	医業収益	15,829,156	15,732,965	16,448,363	16,671,287	16,824,504
	入院収益	12,151,493	11,919,495	12,559,268	12,706,567	12,784,159
	外来収益	3,207,600	3,327,500	3,403,125	3,478,750	3,554,375
	その他医業収益	470,063	485,970	485,970	485,970	485,970
	医業外収益	1,664,795	2,073,973	2,120,476	2,120,416	2,130,095
	受取利息	0	0	0	0	0
	補助金	34,622	53,544	53,544	53,544	53,544
	負担金交付金	1,404,201	1,766,855	1,813,358	1,813,298	1,822,977
	その他医業外収益	225,972	253,574	253,574	253,574	253,574
	特別利益	90,100	10,000	10,000	10,000	10,000
収益計	17,584,051	17,816,938	18,578,839	18,801,703	18,964,599	
費用	医業費用	17,142,335	18,386,996	18,844,352	18,974,206	18,705,269
	給与費	8,069,705	8,620,327	8,991,364	9,111,745	9,074,612
	うち退職給与費	492,268	528,696	499,733	620,114	582,981
	材料費	4,476,403	4,718,493	4,804,680	4,807,039	4,787,191
	うち薬品費	2,266,496	2,493,850	2,553,983	2,541,095	2,516,134
	うち診療材料費	2,180,636	2,207,068	2,234,735	2,249,759	2,254,718
	経費	2,818,857	3,250,282	3,250,282	3,250,282	3,250,282
	減価償却費	1,668,536	1,687,560	1,687,692	1,694,806	1,482,850
	資産減耗費	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200
	研究研修費	93,634	95,134	95,134	95,134	95,134
医業外費用	727,940	785,451	885,643	872,580	854,785	
支払利息等(企業債利息)	451,266	532,015	632,208	619,145	601,350	
雑損失・患者外給食等	100	100	100	100	100	
繰延勘定償却	266,574	243,336	243,335	243,335	243,335	
納付消費税	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
特別損失	146,100	31,000	31,000	31,000	31,000	
費用計	18,016,375	19,203,447	19,760,995	19,877,786	19,591,054	
差引損益 A	-432,324	-1,386,509	-1,182,156	-1,076,083	-626,454	
現金支出を伴わない経費 B	1,682,620	1,944,980	1,945,111	1,952,225	1,740,269	
当年度損益勘定留保資金 C=A+B	1,250,296	558,471	762,955	876,142	1,113,815	
資本的収入	企業債	250,000	150,000	250,000	250,000	250,000
	補助金	0	19,855	19,855	19,855	19,855
	負担金交付金	114,414	512,336	401,941	474,602	765,603
	寄附金	—	—	—	—	—
	収入計	364,414	682,191	671,796	744,457	1,035,458
資本的支出	建設改良費	315,000	219,855	315,000	315,000	315,000
	企業債償還金	334,545	1,222,318	1,353,133	1,473,078	1,829,127
	投資(地方公営企業等金融債償還資金)	3,400	—	—	—	—
	支出計	652,945	1,442,173	1,668,133	1,788,078	2,144,127
差引収支 F	-288,531	-759,982	-996,337	-1,043,621	-1,108,669	
期末補填財源(流動資産-流動負債)=内部留保資金	3,875,548	2,781,067	2,548,801	2,382,438	2,388,700	
未処理欠損金	1,888,500	4,372,237	5,554,393	6,630,476	7,256,930	
経常収支比率	97.9%	92.9%	94.1%	94.7%	96.9%	
医業収支比率	92.3%	85.6%	87.3%	87.9%	89.9%	
給与費対医業収益比率	51.0%	54.8%	54.7%	54.7%	53.9%	
退職金除く給与費対医業収益比率	47.9%	51.4%	51.6%	50.9%	50.5%	
材料費比率(材料費対医業収益比率)	28.3%	30.0%	29.2%	28.8%	28.5%	
うち薬品費比率(薬品費対医業収益比率)	14.3%	15.9%	15.5%	15.2%	15.0%	
材料費対入院外来収益比率	29.1%	30.9%	30.1%	29.7%	29.3%	

「公立病院改革ガイドライン(総務省策定)」における参考資料

○ 経営効率化にかかる目標数値例
(主な経営指標にかかる全国平均値の状況:平成18年度)

病床利用率		経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率		
							計	うち一般	うち療養
計	民間病院	100.1%	100.3%	51.0%	24.4%	13.5%	80.5%	-	-
	公的病院(自治体以外)	98.9%	99.0%	49.9%	30.4%	19.8%	79.8%	-	-
	公立病院(黒字病院)	102.1%	95.2%	52.3%	28.4%	15.5%	82.7%	84.5%	81.2%
	公立病院(上位1/2)	99.6%	93.2%	53.6%	28.1%	14.8%	81.2%	82.7%	80.6%
	公立病院(一般病院全体)	95.1%	89.4%	56.2%	27.4%	14.4%	77.5%	78.9%	77.9%
500床以上	民間病院	101.4%	101.6%	48.0%	27.4%	15.5%	84.7%	-	-
	公的病院(自治体以外)	99.8%	100.1%	48.6%	31.8%	21.0%	80.9%	-	-
	公立病院(黒字病院)	102.2%	97.5%	48.7%	30.1%	16.2%	87.3%	89.2%	93.1%
	公立病院(上位1/2)	99.8%	94.4%	50.5%	29.9%	15.1%	86.2%	87.8%	90.7%
	公立病院(一般病院全体)	97.4%	92.6%	51.5%	29.8%	14.9%	84.8%	86.6%	76.8%
400床以上 500床未満	民間病院	101.1%	101.0%	49.9%	24.5%	13.4%	77.8%	-	-
	公的病院(自治体以外)	98.5%	98.3%	49.2%	31.4%	19.6%	81.0%	-	-
	公立病院(黒字病院)	102.1%	94.3%	54.0%	27.4%	14.4%	84.4%	85.4%	90.0%
	公立病院(上位1/2)	99.5%	94.2%	54.3%	27.2%	13.8%	82.9%	84.6%	86.0%
	公立病院(一般病院全体)	95.7%	91.0%	55.7%	27.1%	13.8%	80.5%	82.1%	77.4%
300床以上 400床未満	民間病院	98.5%	98.6%	50.6%	27.7%	14.4%	78.4%	-	-
	公的病院(自治体以外)	99.0%	99.1%	50.1%	29.5%	19.4%	78.3%	-	-
	公立病院(黒字病院)	101.3%	95.2%	52.4%	29.9%	16.2%	81.1%	84.3%	69.3%
	公立病院(上位1/2)	99.1%	93.3%	53.6%	28.8%	15.2%	79.3%	81.1%	70.6%
	公立病院(一般病院全体)	93.6%	88.5%	57.2%	27.2%	14.2%	76.4%	77.8%	70.1%
200床以上 300床未満	民間病院	98.3%	98.6%	52.7%	22.3%	12.7%	79.6%	-	-
	公的病院(自治体以外)	96.8%	96.9%	53.2%	26.7%	17.4%	77.8%	-	-
	公立病院(黒字病院)	102.0%	93.5%	58.2%	24.9%	12.7%	81.1%	81.8%	81.5%
	公立病院(上位1/2)	99.5%	91.7%	57.5%	25.0%	13.3%	77.1%	77.9%	81.9%
	公立病院(一般病院全体)	92.6%	85.2%	62.1%	25.4%	12.8%	71.5%	72.4%	81.4%
100床以上 200床未満	民間病院	99.6%	100.4%	54.3%	19.2%	10.4%	82.7%	-	-
	公的病院(自治体以外)	97.8%	98.0%	55.1%	25.3%	17.5%	79.0%	-	-
	公立病院(黒字病院)	102.0%	92.0%	57.8%	24.0%	14.0%	75.2%	76.5%	79.0%
	公立病院(上位1/2)	99.4%	90.6%	59.1%	24.6%	14.8%	74.6%	74.8%	80.9%
	公立病院(一般病院全体)	92.7%	87.1%	61.1%	23.9%	14.4%	71.5%	71.2%	78.7%
50床以上 100床未満	民間病院	100.2%	100.3%	54.8%	19.0%	12.4%	77.1%	-	-
	公的病院(自治体以外)	93.5%	91.6%	63.3%	23.0%	18.5%	83.3%	-	-
	公立病院(黒字病院)	104.2%	88.0%	62.2%	23.1%	15.9%	74.1%	71.9%	82.5%
	公立病院(上位1/2)	101.2%	86.5%	63.1%	24.1%	17.1%	73.0%	71.0%	80.8%
	公立病院(一般病院全体)	94.1%	81.3%	65.4%	23.9%	17.0%	68.7%	66.6%	77.5%
50床未満	民間病院	100.2%	100.3%	54.8%	19.0%	12.4%	77.1%	-	-
	公的病院(自治体以外)	93.5%	91.6%	63.3%	23.0%	18.5%	83.3%	-	-
	公立病院(黒字病院)	102.9%	85.7%	62.0%	23.2%	17.4%	73.5%	72.3%	78.0%
	公立病院(上位1/2)	100.5%	83.5%	59.1%	20.6%	14.7%	73.9%	73.4%	76.4%
	公立病院(一般病院全体)	94.4%	77.8%	65.6%	24.4%	18.6%	68.3%	65.6%	77.2%

- (注)1. 「民間病院」及び「公的病院」の数値は、全国公私病院連盟による「病院経営実態調査報告」(平成18年6月調査)及び「病院経営分析調査報告」(平成18年6月調査)に基づく平均値である。
 2. 「公立病院」の数値は、総務省による「平成18年度地方公営企業決算状況調査」に基づく平均値である。
 3. 平成18年度において、経常収支の黒字を達成している公立病院は全体の約1/4程度であり、上記の「公立病院(上位1/2)」の平均値が、概ね経常収支均衡の水準に相当するものと考えられる。
 4. 民間病院並びに公的病院の「500床以上」は、全国公私病院連盟調査における「500～599床」、「600～699床」及び「700床以上」各階級の集計数値の単純平均、「50床以上100床未満」と「50床未満」は、それぞれ全国公私病院連盟調査における「99床以下」で集計した数値である。

3. 一般会計からの繰出基準及び金額

(単位:千円)

事業名	うち 4条	繰出基準	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
			(当初予算ベース)					
高度医療経費			141,578					採算をとることが困難と認められる経費 (総務省基準どおり)
○救命等建物元利償還分		救命・伝病等建物に係る元利償還金の1/3	30,402					
○医療器械元利償還分		1千万円以上の器械に係る元利償還金の1/3	25,989					
○医療器械リース分		1千万円以上の器械に係るリース料	85,187					
救急医療経費		救命救急センターの運営に係る収支不足額	350,162					医師等の待機及び空床の確保等、救急医療の確保に必要な経費(総務省基準どおり)
救命救急センター補助金廃止相当分		廃止された補助金の交付税措置相当分(定額)	80,000					廃止された補助金の約8割相当額(毎年定額) (総務省基準外)
特殊医療経費			291,213					特殊医療で採算をとることが困難と認められる経費 (総務省基準どおり)
○言語訓練		言語訓練部門に係る収支不足額	19,518					
○病理解剖		病理解剖部門に係る収支不足額	80,541					
○リハビリ部門		リハビリ部門に係る収支不足額	108,711					
○小児医療部門		新生児センター等小児医療に係る収支不足額	82,443					
医師等研究研修費		医師等の研究研修に係る経費の1/2	36,915					(総務省基準どおり)
企業債元金償還金	4条	企業債元金の1/2	99,810					(総務省基準どおり)
企業債利息償還金		企業債利息償還金の1/2	2,375					(総務省基準どおり)
企業債利息償還金(新病院建設分)		企業債利息償還金の2/3	297,678					(総務省基準どおり)
共済組合追加費用		共済組合追加費用の全額	148,531					(総務省基準どおり)
児童手当経費		児童手当特例給付に要する経費	5,640					(総務省基準どおり)
医療器械購入費(企業債対象外)	4条	企業債対象外の医療器械購入費の1/2	10,000					(総務省基準どおり)
災害拠点病院整備経費	4条	災害拠点病院整備に係る企業債元利償還金の1/3	4,604					(総務省基準どおり)
補助金廃止相当分		廃止された補助金の起債振替相当分	20,109					(総務省基準どおり)
医療器械・医療情報システム経費		医療器械・医療情報システム企業債元利償還分相当	30,000					(総務省基準どおり)
合 計			1,518,615					

(内訳) 3条予算分 1,404,201
4条予算分 114,414